

# 七夕が彩る戸出 まち歩きマップ

～風情残る歴史街道「戸出中田往来」～

## 戸出の開町と地名の由来

古くから北陸道の主要道として栄えた道と、当時は庄川の本流だった千保川が交わる交通の要所に発展の可能性を見出した大庄屋・川合又右衛門は、江戸時代初期の元和（げんな）3年（1617）、この地を開墾し町を築く礎をつくりました。

古くは、「戸出」は「灯油田」と書かれていました。灯油（ともしびあぶら）をつくるための胡麻もしくはエゴマが栽培されていたためと考えられています。

平安時代の書物には、越中が当時全国有数の油を生産していたことが書かれており、油田（砺波市）、油屋（高岡市醍醐）など油にまつわる地名が多いこの付近が油の一大生産地であったと考えられています。

清少納言の枕草子や紫式部の源氏物語も、戸出で採れた油のあかりを頼りに書かれたのかもしれませんが。

## 戸出中田往来

上使街道とも呼ばれるこの道は、高岡にまちが築かれるまでは北陸路の主道として栄えました。庄川扇状地の扇端部にあつて湧水が多く、安全な旅ができ、また関西方面と越後方面とを最短距離で結ぶ道であるため古くから利用されてきました。

木曾義仲の他、承久の変では北条朝時・結城朝広の軍勢が、承久の変後の配流の際には順徳上皇の御一行が。また、豊臣秀吉の軍勢も富山の佐々成政攻めの際にこの道を通ったといわれています。



## 戸出七夕まつり

毎年7月3日～7日に開催される戸出七夕の特色は、「吹流し」と「かんざし」づくりで、手作り七夕としては日本最大規模の七夕まつりです。旧街道を彩る「七夕のトンネル」は見ごたえがあります。

各町住民が大七夕をつくり高岡市長賞の栄冠を目指すほか、一般家庭には男の子の健やかな成長を祈るために大きな七夕を飾るといふ明治時代からの風習が残っています。この2つの七夕が融合した戸出の七夕は、全国にも類のない特徴的な七夕まつりです。



## 戸出の「おいしい」花々

【戸出】戸出公園の桜

古くから桜の名所として知られ、夜桜まつりが毎年開催されています。

【醍醐】東新又川べりの桜並木

南北2.6kmにも及ぶ大桜並木です。遠くから眺めるとうす紅色の帯のようです。

【是戸】チューリップ畑

日本有数のチューリップ生産地帯です。5月ごろにはさまざまな色のチューリップが楽しめます。

【北般若】菜の花フェスティバル（4月29日）

油を採るための菜の花が栽培されています。春は畑が一面黄色に覆われます。



## 戸出のんまいもん

### きんつば（けんつば）

全国的に直方体のものが主流ですが、戸出のものは、きんつば本来の形である円形でしかも剣鏢の文様が付いている全国的にも珍しいものです。

- ・天谷菓子舗：戸出町3丁目10-12 (0766-63-0159)
- ・高松菓子店：戸出町3丁目12-25 (0766-63-3053)
- ・中田屋森菓子舗：戸出町3丁目10-6 (0766-63-0219)
- ・みかど屋菓子舗：戸出町2丁目11-7 (0766-63-0242)
- ・らんじょ屋：戸出町4丁目10-1 (0766-63-0021)

(五十音順)

### 庄川の天然鮎

養殖鮎を出す鮎料理店も多い中、戸出は天然鮎がおいしい地としても知られています。是非一度、天然の庄川鮎を味わってみられませ。（例年6月中旬解禁）

- ・川舟はくが：戸出町1丁目2-52 (0766-63-1141)
- ・まるも：戸出町3丁目10-7 (0766-63-0122)
- ・よし紀：戸出町2丁目11-9 (0766-63-0162)

(五十音順)

